



2022年6月22日

株式会社 阿波銀行

大和鋼球株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、大和鋼球株式会社（代表取締役 杉原 亮介、本社：大阪府大阪市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	大和鋼球株式会社
所在地	大阪府大阪市天王寺区勝山三丁目1番21号
代表者	杉原 亮介
業種	鋼球・軸受販売業
設立	1965年3月1日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年6月22日



大和鋼球株式会社 代表取締役 杉原 亮介

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会	従業員の ウェルビーイングの 向上	心身ともに健康で、 働きがいをもって働けるよう、 社員の健康の維持に 努めるとともに、 持続可能な働き方の 実現をサポートします。	①健康診断の年度平均受診率の向上	
			②健康診断の受診率100%	
社会	情報漏えいの 防止	各種機密情報の保護の 重要性を従業員全員が 認識し、 情報漏えい防止に 努めます。	①パソコンや記憶メディアの取扱いルール制定	
			②2023年度までに制定し、社員全員へ通知	
環境・ 社会	環境問題の 認識・理解の 推進	環境問題を自分事として 取り組むために、 環境意識のさらなる向上に 努めます。	①従業員参加型の環境保全活動 (地域の清掃活動等)の実施	
			②毎月1回の実施	
環境・ 社会・ 経済	災害・事故・ 事業リスクの 未然防止	災害や事故等の 有事においても、 事業を復旧・継続するため、 対応し得る万全の 準備を行います。	①食糧・飲料水の備蓄	
			②2023年度までに社員全員分を備蓄完了	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。